

## 生成文法近辺のアメリカの言語学の体系の略図

片方向の矢印は影響関係を表しています（当然反論も含まれているわけですが…）。双方向のマークは反論がかなり露骨な場合に用いています。矢印が交差している場合は二つの矢印はねじれの位置にあると判断してください。また、所定の言語学が生成文法の具体的な発展段階と特に密接に関係していると考えられる場合は、生成文法という大きな囲いからではなく、具体的な発展段階から矢印を出しています。この図は今まで勉強した範囲で書いていますので、これから勉強していく中で間違いだったと判明する部分も含まれていると思います。徐々に、より正確なものにしていきたいと思います。

### 下の図に出てくる学派名と代表的人物一覧

学派（言語論）名	代表的人物
一般句構造文法（Generalized Phrase Structure Grammar, GPSG）	Gazdar, Klein, Pullum, Sag
概念意味論（Conceptual Semantics）	Jackendoff
格文法（Case Grammar）	Fillmore
関係文法（Relational Grammar）	Permuter, Postal
木結合文法（Tree-adjoining Grammar, TAG）	Kroch, Joshi
語彙機能文法（Lexical-functional Grammar, LFG）	Bresnan
構文文法（Construction Grammar）	Goldberg, Fillmore, Kay, Lakoff
最適性理論（Optimality Theory）	Prince, Smolensky
主要部駆動句構造文法（Head-driven Phrase-structure Grammar, HPSG）	Gazdar, Pollard, Sag,
用法基盤モデル（Usage-based Model）	Langacker, Tomasello
生成意味論（Generative Semantics）	Lakoff
生成音韻論（Generative Phonology）	Chomsky, Halle
生成文法（Generative Grammar）	Chomsky
対弧文法（Arc Pair Grammar）	Johnson, Postal
認知意味論（Cognitive Semantics）	Lakoff, Johnson
認知文法（Cognitive Grammar）	Langacker
フレーム意味論（Frame Semantics）	Fillmore
文法化理論（Grammaticalization Theory）	Traugott, Heine, Sweetser
メンタル・スペース理論（Mental Space Theory）	Fauconnier

